

高等技術専門校評価システム〈評価表〉

川越高等技術専門校 ビル管理科

評価項目	指標	評価	コメント
1 訓練内容 必要な技能・知識を習得させるための訓練内容が設定され、実施されている	(1) 生活指導 あいさつができる、遅刻・欠席が少ないなど、生活指導が適切である	出席率 90%以上	(a) b c 出席率平均 95. 6%
	(2) 訓練生満足度 訓練内容に対し、訓練生の満足度が高い	満足度 90%以上	(a) b c 満足度平均 91. 7%
2 応募・入校状況 入校者が定員を充足している	(1) 応募状況 応募倍率が1.25倍以上である	応募倍率 1.25倍以上	a b (c) 応募倍率 0. 85倍
	(2) 入校状況 入校者が定員を充足している	入校率 100%	a b (c) 入校率 71. 7%
3 就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と連携を図り、雇用情勢の情報収集や訓練生に対する相談、指導等の就職支援がなされている	(1) 就職状況(確定値) 就職率が100%である	就職率 100%	a b (c) 就職率 77. 4%
	(2) 就職状況(追指導最終値) 就職率が100%である ※ 前年度修了者	就職率 100%	a (b) c 就職率 86. 0%
	(3) 就職状況 訓練関連率(訓練を活かした就労率)が80%以上である	関連就職率 80%以上	(a) b c 関連就職率 83. 3%
4 資格取得状況 訓練科ごとに適切な資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	・資格取得状況 訓練科ごとに適正資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	合格率 全国平均以上	(a) b c 全国平均以上 ・各資格取得状況 二級ボイラー技士80.5%(全国平均53.8%) 乙種第4類危険物取扱者78.6%(全国平均31.7%)

a:優れている b:良好である c:改善を要する

総合評価

A:優れている B:良好である C:一部改善を要する D:総合的な見直しを要する

c評価が3項目あるため、総合評価はcとする。 中高年者向けの短期コースとしておよそ40年間科目を継続している。応募者は減少傾向にあるもののビル管理業界の人材不足は著しく毎年多くの求人を受けている。 募集広報では、7月入校と1月入校の応募状況に差があり、募集の時期により広報を工夫する必要がある。また、職業訓練説明会では、パンフレットを使った説明だけでなく、体験型を実施することにより、訓練内容の一部を体験していただくことにより、訓練内容をわかりやすく伝え、応募倍率の向上を図る。 訓練面では、満足度を高めるための授業研究やテキスト類の見直しなどを積極的に行い、二級ボイラー技士や危険物取扱者などは全国平均を大きく上回る資格取得率を維持しているなど、ビル管理科入校のメリットを強くアピールした広報活動に努めていく。 中高年層は企業とのマッチングが困難となるケースがあるが、就職先は県内だけでなく都内も多いことから、県内外の関係団体と連携をとりながら各企業に対する働きかけを確実に行っていく。また、職務内容や就業場所などの採用条件について、訓練生と企業とのマッチングが着実に進むよう、指導員とキャリアカウンセラーの支援等、訓練生の就職活動のサポートを強化することで就職率100%を目指していく。
